

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

## 平成21年度病害虫発生予察情報について

このことについて、発生予察注意報第1号（イチゴうどんこ病）を発表しましたので、送付します。

## 病害虫発生予察 注意報第1号

- 1 農作物名 イチゴ  
 2 病害虫名 うどんこ病  
 3 予報内容  
 (1) 発生地域 県本土  
 (2) 発生量 多  
 4 情報の根拠

- (1) 6月中旬の巡回調査での発生ほ場率は82%（平年32%）と高く、発生程度の高いほ場が多く認められた（表1）。  
 (2) 育苗ほでの発生ほ場率が高いと、本ほでの発生ほ場率も高くなる傾向がある（図1）。  
 (3) 6月中旬の発生ほ場率は、多発した前年の同時期よりも高く（図2）、本ほで多発する恐れがある。

表1 うどんこ病発生状況（育苗ほ） 調査日：6/12～22

地域名	調査ほ場数	発病程度別ほ場数				計
		甚	多	中	少	
日置	5	3		1		4
川薩	5	2	2			4
曾於	7	1	1	2	2	6
計	17	6	3	3	2	14 (82%)

注) ( ) は発生ほ場率

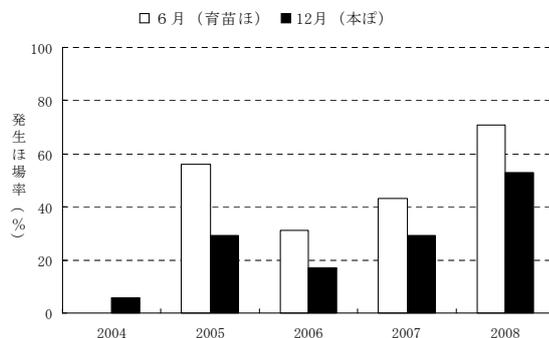


図1 育苗ほと本ほにおけるうどんこ病の発生ほ場率の関係

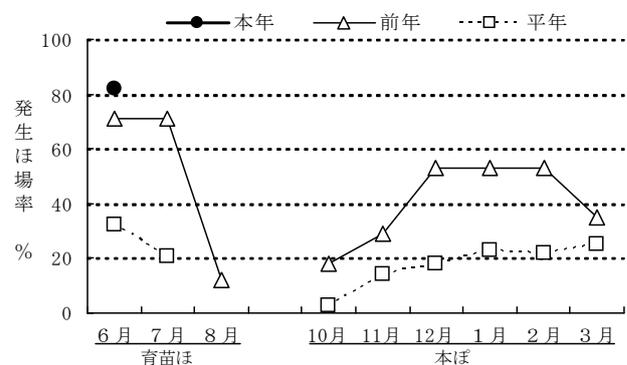


図2 うどんこ病の発生推移

## 5 防除上注意すべき事項

- (1) 7～8月の高温期は病斑が消滅するが、潜在感染株は本ほで発病するので、定期的な予防散布を徹底する。  
 (2) 薬剤は、下葉や葉裏によくかかるよう古葉等を除去した後に十分量を散布する。  
 (3) 同一系統薬剤の連用を避け、作用性の異なる薬剤とのローテーション散布を行う。  
 (4) 罹病葉や不要な古葉はできるだけ除去し、ほ場外に持ち出して処分する。

(参考)



写真1 親株でのうどんこ病



分生胞子が飛散し子苗で発病！



写真2 子苗のうどんこ病（激発時：葉を巻いている）



写真3 うどんこ病激発ほ場（分生胞子が飛散する！）